

技術士 2 次試験に合格して



森谷 猛
(もりや たけし)

勤務先

株式会社 福田水文センター

技術部

〒001-0024 札幌市北区北 24 条西 15 丁目 2-5

TEL 011-736-2371 FAX 011-736-2393

E-mail t-moriya@f-suimon.co.jp

■ 専門：建設部門(鋼構造及びコンクリート)(河川、砂防及び海岸・海洋)

1. はじめに

私は、1971 年(昭和 46 年)に札幌市で生まれ育ちました。小学生時代は、野幌森林公園が近かったことから、いつもそこを探検しながら昆虫やカエルを採取して遊んでいました。

大学時代は土木工学を学び、卒業後は道内の建設コンサルタント会社に就職しました。その後、転職を経て 5 年前より株式会社福田水文センターに在籍しています。現在は、主に河川管理施設の維持管理に関わる業務に従事しています。

技術士の資格は、昨年「建設部門－鋼構造及びコンクリート」、そして今年「同部門－河川、砂防及び海岸・海洋」を合格させていただきました。

今回は、そこに至るまでの道のりと今後の抱負を簡単ではありますが述べさせていただきます。

2. 技術士一次試験

私が技術士という資格を知ったのは、大学時代でした。その頃は、自分の将来の方向性が定まっていなかったことから、受験するには至りませんでした。

また、社会人になってからも、出題範囲の広さや資格取得の優先順位などもあり、社会人 10 年目を迎えた平成 16 年度にやっと合格する事ができました。

3. 技術士二次試験

その後は、当然の成り行きで二次試験を受験しようと考えました。しかし、どこから、どのように、どれくらい取り組めば良いか全く解らず、「たぶん合格できないだろうな」という思いのまま、漠然と勉強をする状態が続きました。今振り返ると、そのような方法では良い結果が出ない事は明白です。さらに、仕事が忙しい事を言い訳にし「受験申込→漠然と勉強→不合格→受験申込→漠然と勉強→不合格→(以下繰返し)」という負のスパイラルに陥る状況が数年間にわたり続きました。

そのような中、私に転職が訪れました。それは、転職により現在の会社に入社したことです。社内は、技術士資格保有者が在籍し、その資格を活用していました。さらに、資格取得を目指している同僚に囲まれるという環境は、私にとって大変刺激になりました。自分自身も 40 代半ばを迎え、資格取得は必須と考えるようになり、一念発起し資格取得に取り組むことにしました。

その後は、日々しっかりと計画を立てて勉強をするようにしました。その甲斐あって、すぐに筆記試験を突破することができました。さらに口頭試験に向けて、模擬口頭試験などのサポートを多くの方々から受けた結果、無事に合格させていただきました。

この経験で、改めて学んだ 3 つのことがあります。それは①本気②協力③感謝です。何事もそうだと思いますが、自分だけの力で何かを達成しようとするには限界があります。また、周りは必ず力になってくれる人がいます。そこに自分が甘えることなく応える気持ちを持ちながら、目標に向かって進むことが大切だと実感しました。

4. 今後の抱負

今後は、技術士資格を生かす事はもちろん、技術士としての活動にも積極的に参加し、技術者として研鑽を重ねていこうと考えています。

そのためにも、常に物事に対して何故そうなったのか?という事を考えるようにし、次にそれがもっと良くなるような更なる工夫をしていきたいです。

5. 最後に

最後になりましたが、受験するにあたり職場・技術士・友人そして家族など多くの方々から惜しみない協力をしていただき、心から感謝しております。

また、このような投稿の機会を与えていただき、誠にありがとうございました。